

GetNetDat Ver.1.6.x

操作ガイド

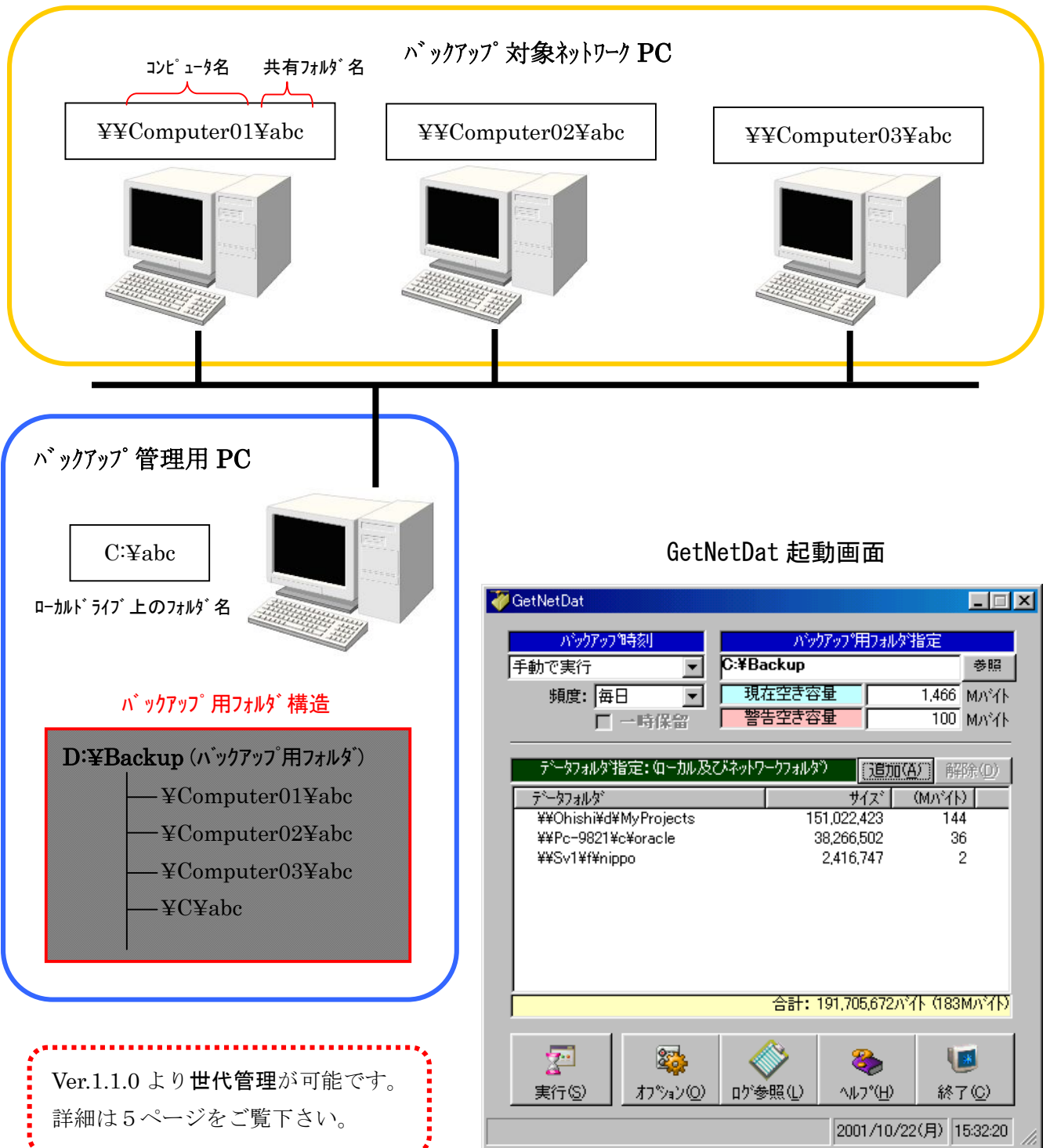
目 次

1. GetNetDat の目的	2
2. GetNetDat の基本操作	3
3. GetNetDat の詳細説明	4
付録 1. Exit-Win からの呼出	8
付録 2. MS-DOS 画面とスキャンディスクの自動終了	9
付録 3. Xcopy パラメーター一覧	10

1. GetNetDat の目的

■GetNetDat は LAN 上の共有フォルダをバックアップするツールです。

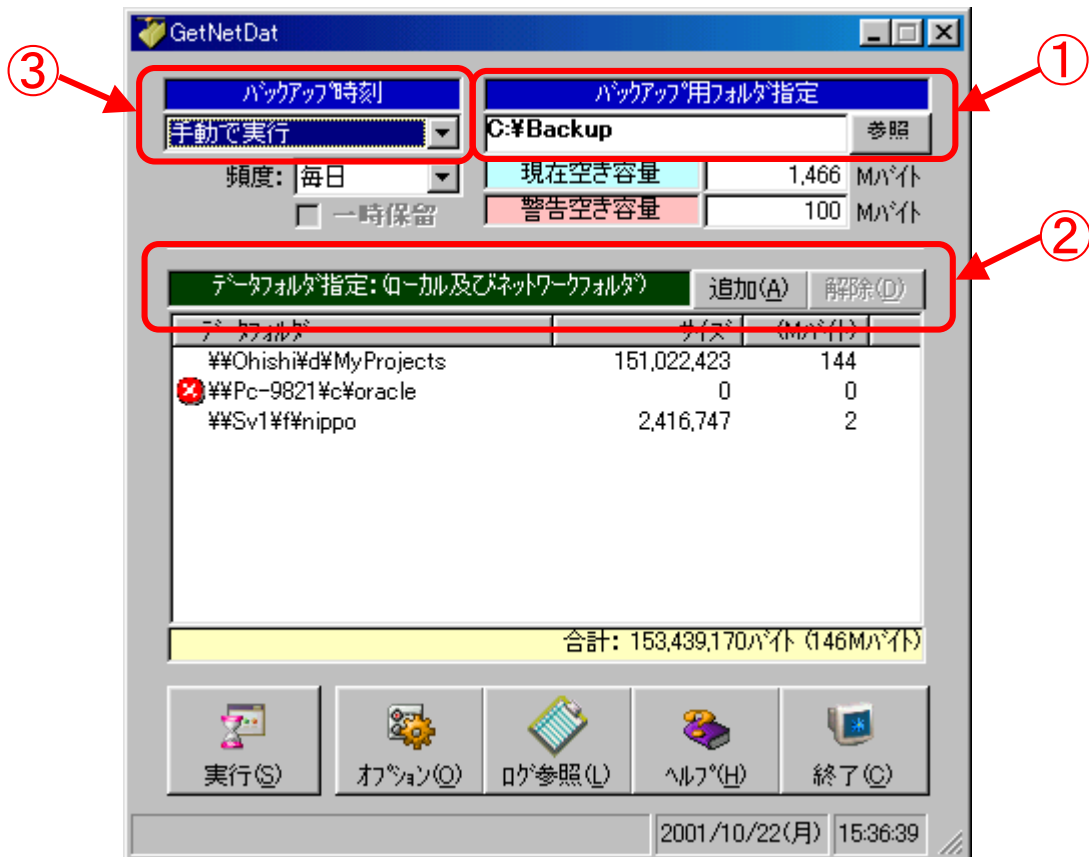
以前作った XcopyGUI というバックアップツールは基本的にローカルドライブを対象にしていました。さらにバックアップ対象が一つしか指定できませんでした。この2点を解消する目的で GetNetDat が作られました。従って、Exit-Win と連動させることもできます。



2. GetNetDat の基本操作

■GetNetDat の操作は次の3項目を決めることから始めます。

- ① バックアップ用フォルダ : 空き容量に充分余裕のあるディスク上に作成して下さい。
- ② データフォルダ : ネットワーク共有フォルダやローカルフォルダを選択します。
- ③ バックアップ時刻 : 手動～時間・時刻指定が選択できます。



- ① 「参照」ボタンをクリックして、フォルダを選択します。(事前にフォルダを作成して下さい)
- ② 「追加」ボタンをクリックして、フォルダを選択します。

注意：共有フォルダにパスワード等が設定されている場合は、あらかじめ権限のあるユーザーでネットワークにログインしておく必要があります。

- ③ 選択内容は次の7タイプです。

「手動」「1時間毎」「3時間毎」「6時間毎」「12時間毎」

「指定時刻(*1)」「指定アイドル時間後(*2)」

注意：*1,*2の具体的な時刻・時間は「オプション」で指定します。

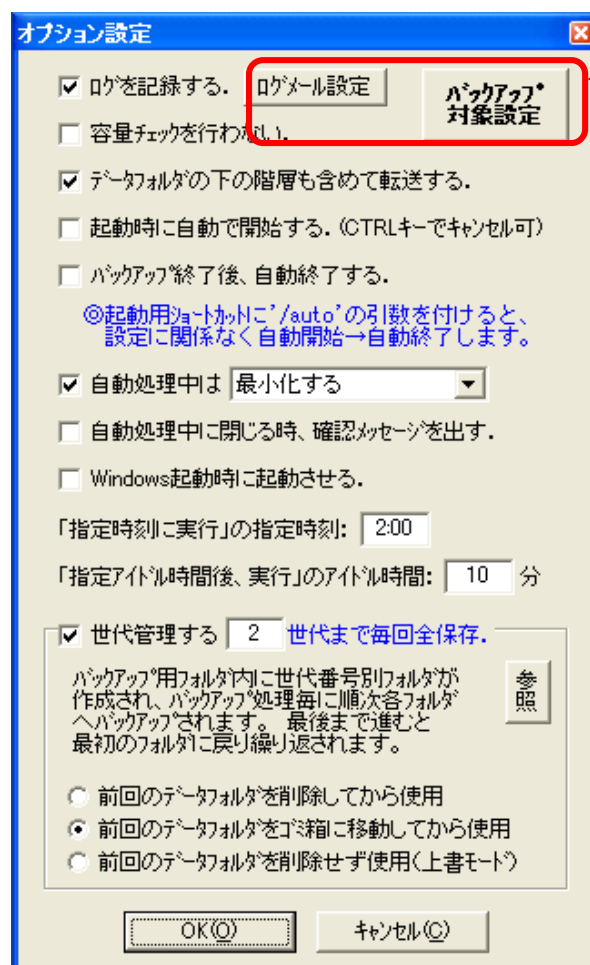
※「頻度」は必要に応じて選択します。

①～③の設定完了後、「実行」ボタンをクリックするとバックアップ処理が始まります。

「バックアップ時刻」が「手動で実行」の場合は、即実行されますが、それ以外はタイマーが作動し該当時刻や時間が経つと実際の処理が始まります。

3. GetNetDat の詳細説明

■GetNetDat の様々な機能はオプションで設定します。(下図)



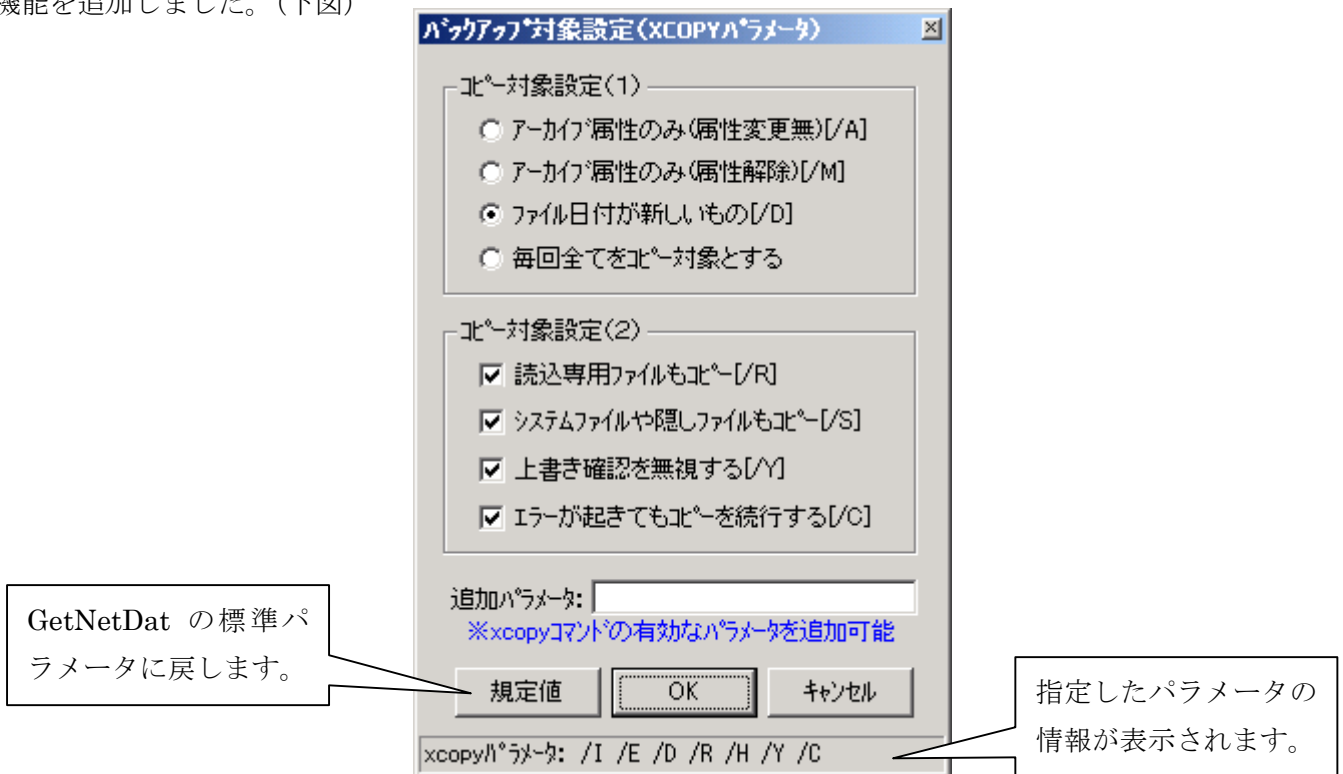
詳細は 6 ページ
にあります。

	設定項目	内 容
1	ログを記録する	作業履歴をファイルに書出します。 Ver.1.5.0 よりログをメール送信可能。
2	容量チェックを行わない	本ソフトはバックアップの失敗を回避するため、事前にバックアップ用フォルダやデータフォルダの容量チェックを行います。対象となるフォルダの数が多くなると、チェックに掛かる時間も多くなります。バックアップ用フォルダの空き容量が充分あり、失敗の危険が無いと判断できれば、このオプションを有効にしても構いません。
3	データフォルダの下の階層も含めて転送する	指定フォルダの下の子フォルダをバックアップ対象から除く場合は、チェックを外してください。
4	起動時に自動で開始する	本ソフトをスタートアップに入れて、自動処理させたいときは有効にします。 ※CTRL キーを押しながら起動させると、自動処理しません。
5	バックアップ終了後、自動終了する	一回のみの実行で終了できます。
※	起動オプション	上記オプションの 4 と 5 を強制的に指定します。外部プログラムから GetNetDat を実行する場合に使います。(次頁につづく)

		※姉妹ソフト「Exit-Win」から指定すると、このオプションが付与されます。
6	自動処理中は最小化・タクトレイ	タスクバーに入れます。 タスクトレイに入れることも可。
7	自動処理中に閉じる時、確認メッセージを出す	うっかり閉じてしまうミスを防ぐ目的ですが、 Windows 終了時に、一々確認メッセージが出て煩わしい場合は解除してください。
8	Windows 起動時に起動させる	Windows 起動時、自動で GetNetDat を実行させることができます。
9	指定時刻	「指定時刻に実行」を選択した場合の時刻を 24 時間制で入力します。
10	指定アイドル時間	「指定アイドル時間後、実行」を選択した場合の 待機時間を分単位で入力します。 (10～14400 まで)
11	<p>世代管理する</p> <p>バックアップフォルダ内に世代番号毎のフォルダを作成し、処理毎に順次世代番号フォルダにコピーします。1→2→・・・最大番号(Max は 100)までコピーすると 1 に戻ってコピーします。再びコピーする際には、以前の内容を「削除」「ゴミ箱に移動」「上書き」を選択できます。</p> <p>例)</p> <p>D:¥Backup (バックアップ用フォルダ)</p> <p>※ 当然ですが、世代が多くなれば使用ディスク容量も世代数分倍増します。</p> <p>● どのバックアップがどの世代番号フォルダにあるかは、ログを参照すると判ります。</p> <pre> ----- バックアップ (世代 No.1) ----- 04/07/06 00:17:29 xcopy.exe F:¥Inetpub¥scripts¥*. * D:¥backup¥1 /I /D /H /R /E /Y を実行します. 04/07/06 00:17:29実行中..... 04/07/06 00:17:39 処理は終了しました. (処理時間 : 10 秒) ----- バックアップ (世代 No.2) ----- 04/07/06 00:18:17 xcopy.exe F:¥Inetpub¥scripts¥*. * D:¥backup¥2 /I /D /H /R /E /Y を実行します. 04/07/06 00:18:17実行中..... 04/07/06 00:18:23 処理は終了しました. (処理時間 : 6 秒) </pre>	

★バックアップ対象設定。Ver.1.3.0 より追加された機能。

従来の GetNetDat ではバックアップ処理時の XCOPY コマンドのパラメータが固定で、ユーザー指定ができませんでした。今回、姉妹ソフト「Exit-Win&XcopyGUI」の XcopyGUI で使われた設定画面と同等の機能を追加しました。(下図)

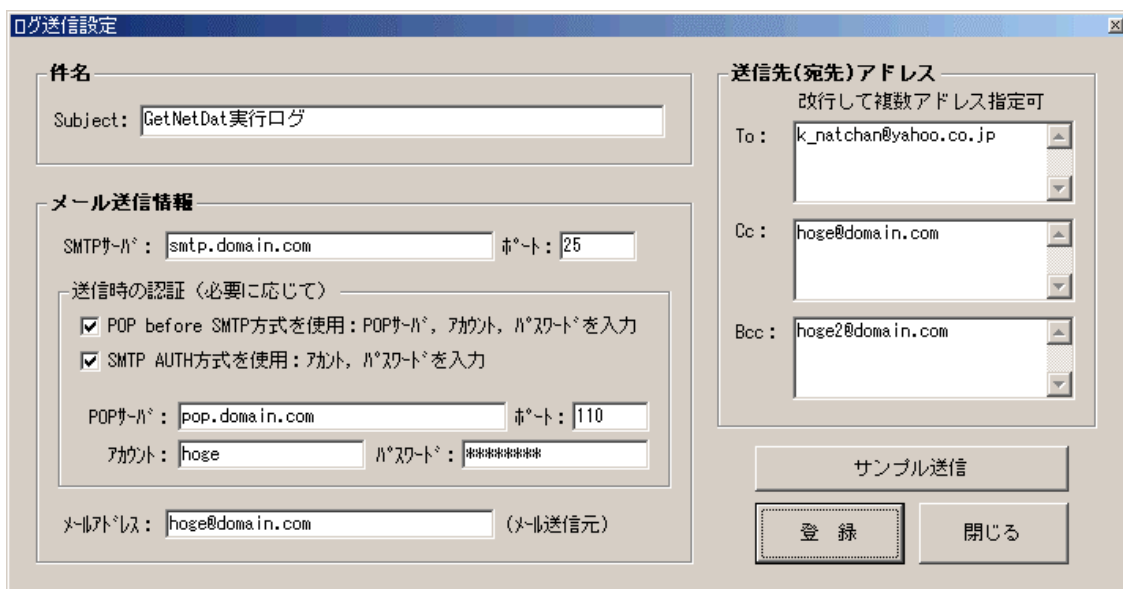


※ XCOPY コマンドのパラメータについては 10 頁「付録 3 xcopy パラメーター一覧」をご覧ください。

※ コマンドプロンプトから「xcopy /?」と入力すると詳しい説明が表示されますので合せてご覧ください。

★ログメール設定。Ver.1.5.0 より追加された機能。

離れたところにある PC の処理結果をメールで確認するときに使います。



※ SMTP サーバ名、送信元メールアドレス、送信先メールアドレスが空白の場合は送信しません。

■ その他：画面の説明

The screenshot shows the GetNetDat backup utility interface. At the top, a status bar indicates the backup will start in 6 hours and 20 minutes. The main window is divided into several sections:

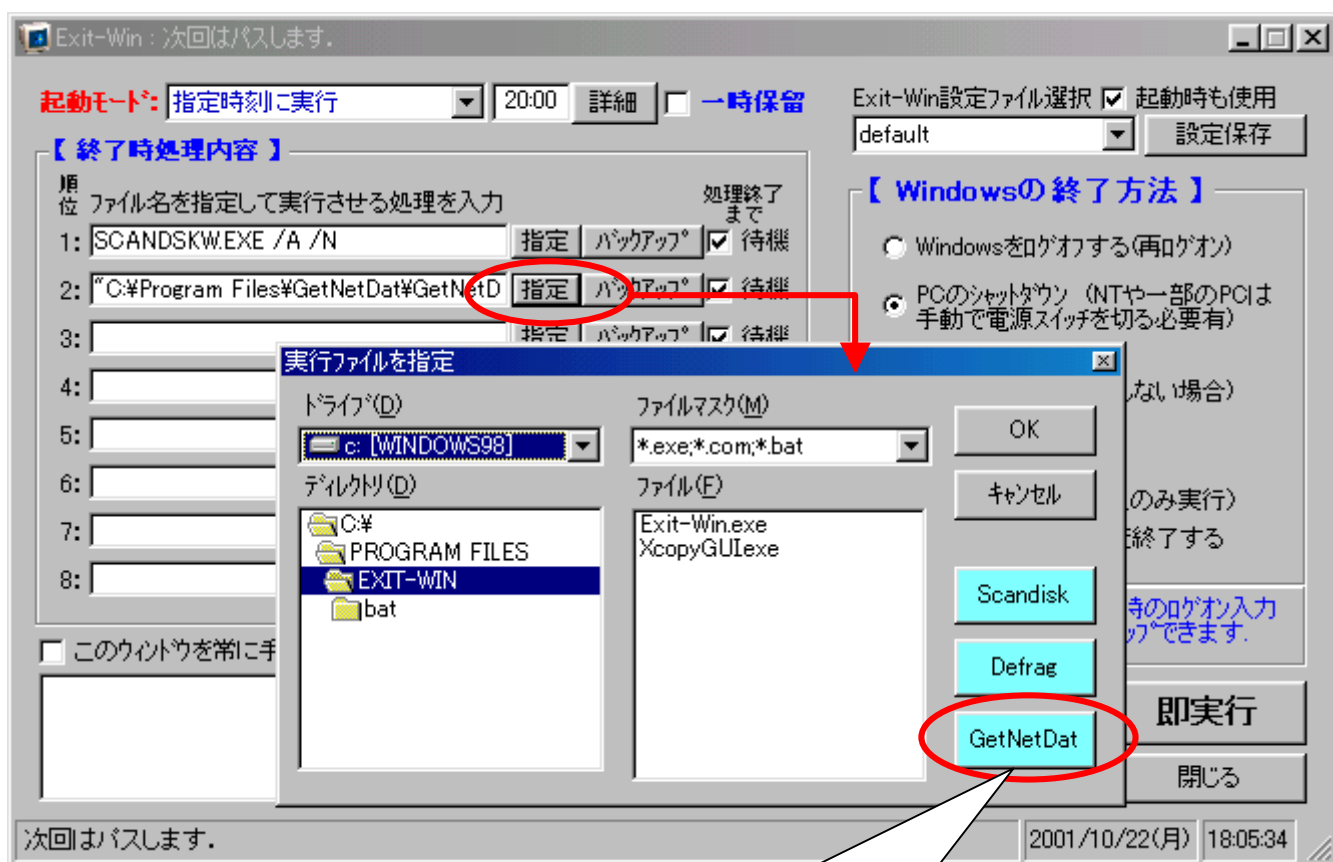
- Backup Schedule:** Includes a dropdown for '指定時刻(0:00)に実行' (Execute at specified time (0:00)), a frequency dropdown set to '毎日' (Daily), and a checkbox for '一時保留' (Pause temporarily).
- Destination and Capacity:** Shows the backup destination as 'C:\B...' and a '参照' (Reference) button. It displays '現在空き容量' (Current free space) as 1,466 MB and '警告空き容量' (Warning free space) as 100 MB.
- Excluded Data:** A table lists excluded data with columns for 'データフォルダ' (Data folder), 'サイズ' (Size), and '(Mバイト)' (MB). The total size is 153,439,170 MB (146 MB).
- Buttons:** Includes '実行(S)' (Execute), 'オプション(O)' (Options), 'ログ参照(L)' (Log reference), 'ヘルプ(H)' (Help), and '終了(C)' (Exit).
- Status Bar:** Shows the start time 'あと 6 時間 20 分後に開始されます。' and the current date and time '2001/10/22(月) 17:39:37'.

Callout boxes provide the following explanations:

- 一時保留:** タイマ-動作中に一時停止したい時に、チェックします。
- 警告空き容量:** このサイズ以下になると警告メッセージを出します。0(ゼロ)に設定すれば警告しなくなります。
- ログ参照:** 作業履歴を見ることが出来ます。ログは処理毎に追加されていきますので、適当に削除してください。
- ネットワーク切断:** ネットワークが切断されている状態で、バックアップは無効になります。
- タイトルバーとステータスバー:** タイトルバーとステータスバーに、実行までの残り時間を表示します。

付録 1 : Exit-Win からの呼出

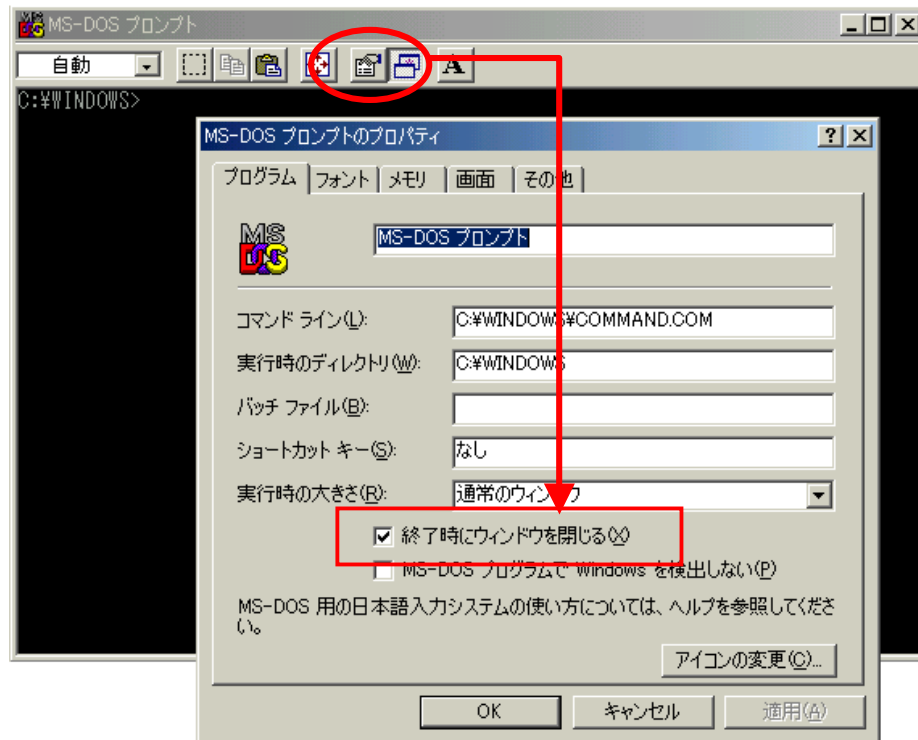
GetNetDat は XcopyGUI の拡張版でもあり、Exit-Win から利用できるようになっています。



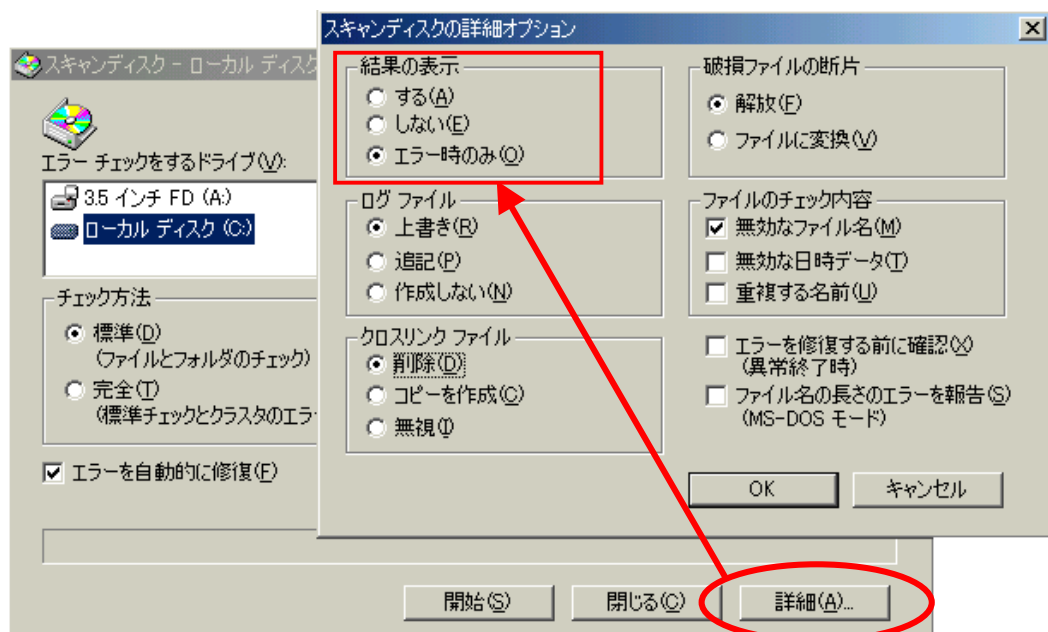
これをクリックすると、GetNetDat のプログラムの場所を聞いてくるので、インストール先のフォルダを開いて選択します。
次に、GetNetDat が起動したら内容を確認して「終了」すると Exit-Win に取り込まれます。

付録 2 : MS-DOS 画面とスキャンディスクの自動終了

■GetNetDat を実行したときに、バックアップ作業中に出た MS-DOS 画面が閉じないことがあります。この場合は下図のように MS-DOS プロンプトのプロパティから「終了時にウィンドウを閉じる」にチェックを入れてください。(図は WindowsMe の場合。95/98 も同様。NT や 2000 は不要)



■スキャンディスクは処理後、スキャン結果を表示します。これだと Exit-Win 等で他の処理と連続して行いたい時に、処理が止まってしまいます。エラーがあれば止まるのも仕方ありませんが、問題がない場合に止まらないで閉じる方法があります。下図のように「結果の表示」を「エラー時のみ」にします。(図は WindowsMe の場合。95/98 も同様。NT や 2000 は不可)



付録 3 : xcopy パラメータ一覧

XCOPY 送り側 [受け側] [/A | /M] [/D:日付] [/P] [/S] [/E] [/W] ...

送り側 コピーするファイル(複数可)を指定します。
 受け側 新しいファイルの場所と名前を指定します。
 ※[パラメータ]は任意記述

Xcopy のパラメータ内容	Xcopy のパラメータ		
	Windows95/98/Me	WindowsNT	Windows2000/XP
アーカイブ属性のファイル属性は変更無	/A	←	←
アーカイブ属性のファイル属性は解除	/M	←	←
指定された日付以降に変更されたファイルをコピーします。日付が未指定は、送り側が受け側より新しいファイルだけコピーされます。	/D:日付	/D:月-日-年	←
受け側のファイルを作成する前にプロンプトを表示します。	/P	←	←
空のものを除いてサブディレクトリもコピーします。	/S	←	←
空であるものも含めてすべてのサブディレクトリをコピーします。	/E	←	←
書き込んだ各ファイルを検証します。	無	/V	←
コピーする前にキーを入力するためのプロンプトを表示します。	/W	←	←
エラーが起きてもコピーを続けます。	/C	←	←
受け側がなく、複数のファイルをコピーする場合、受け側をディレクトリとしてコピーします。	/I	←	←
コピー中にファイル名を表示しません。	/Q	←	←
コピー中に受け側と送り側のパスおよびファイル名を表示します。	/F	←	←

コピーするファイルを表示します。	/L	←	←
隠しおよびシステムファイルもコピーします。	/H	←	←
書き込み禁止ファイルも上書きします。	/R	←	←
ディレクトリだけ作成して、ファイルはコピーしません。送り側が空のディレクトリは作成されません。/T と /E を指定すると、空のディレクトリも作成されます。	/T	←	←
受け側にあるファイルを更新します。	/U	←	←
属性をコピーします。通常、書き込み禁止属性は解除されます。	/K	←	←
確認のプロンプトを表示せずにファイルを上書きします。	/Y	無	/Y
ファイルを上書きするか確認するためのプロンプトを表示します。	/-Y	無	/-Y
短いファイル名を使ってコピーします。	/N	←	←
再起動可能モードでネットワークファイルのコピーします。	無	/Z	←
ファイルの所有権と ACL 情報をコピーします。	無	無	/O
ファイル監査設定をコピーします (/O を含む)。	無	無	/X

XCOPY コマンドは Windows のバージョンによって若干異なります。より詳しい情報はコマンドプロンプトから「xcopy /?」と入力することでヘルプ情報を表示してご確認ください。